

ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

「小さな善意が集まり、形になる経験」

ベルマーク便りコンクール優秀賞 東京・大田区立馬込第三小



①取材日に来ってくれた皆さん ②馬三委員会の子どもたち ③保護者と子どもと一緒に活動 ④いちごのバックを使って「ワケワケ」 ⑤みんなでお買いものガイドを見ました ⑥協力への感謝を伝えるポスター作り

「できる人が できる時に できることをやっいてこう！」

ベルマーク便りコンクールで優秀賞に選ばれた東京都大田区立馬込第三小学校の「馬三ベルマークボランティア」のモットーです。

PTAが取り組んでいたベルマーク活動は、コロナ禍で廃止の危機に直面しました。活動ができなくなり、「このまま廃止でよい」という意見も出ていました。一方で、「やってみたら楽しかった」「これなら家でもできる」という声もありました。そこで2022年6月、PTAの役員だった田口朝子さんは総会でアンケートを実施。アンケート用紙には、運動の目的を紹介する文面を加えました。

ただ、PTA活動としてやることを負担に感じている人がいることも事実。そのため田口さんはアンケート実施時に、ボランティア活動として続ける選択肢を提示しました。ボランティアになった場合に、活動に参加してくれるかどうかとも同時に尋ねました。

ふたを開けてみると、回答数の約6割の世帯が継続を希望し、その約半数がボランティアでとの回答でした。

「楽しかったから、またやりたい」「できる時間で役立つことをしたい」「子どもと一緒にできる活動をしたい」…

様々な思いをもった人たちが集まって、ベルマークボランティアが結成されました。自分たちの学校以外の支援にも

つながる活動だと初めて知り、関心をもってくれた人もいました。田口さんは「活動の趣旨、目的をきちんと伝えることも大事だ」と感じたそうです。

2022年10月、田口さんと藤嶋亜季さんが世話人となり、ボランティアが発足しました。メンバー初顔合わせで決めたモットーが冒頭の「できる人が できる時に できることをやっいてこう！」です。加えて、子どもたちと一緒に活動をやっいてこう、と世話人の間で決めました。

藤嶋さんは、活動を説明する子どもたち向けの動画を自宅で撮影し、校内放映してもらいました。保護者向けには説明会を開催し、活動への理解やメンバーの募集を呼びかけました。また、メンバー

は回収箱を作成したり、備品を準備したり、子どもたちが楽しく参加してくれる工夫について意見を出し合いました。

ボランティアとなったことが影響してなのか、メンバーの一人一人が自主的に活動を進めることができています。

ベルマーク活動について田口さんは「時代と逆行していると言う方もいますが、私たちには保護者と子どもたちが集まって過ごす楽しい時間。小さな善意が集まって形になるという経験は、未来の誰かへとつながっていくと思います」。藤嶋さんは「活動が『学校と地域』『子どもたちと、見守ってくださる近隣の皆様』をつなぐきっかけになればと思っています」と話してくれました。

創立40周年の記念にバスケットゴールを

東京・町田市立小山田南小

「創立40周年の記念に、そして統合後も長く使えるものを買おう」

東京都町田市にある市立小山田南小学校(清水淳校長、児童535人)が、ベルマーク預金を使って移動式バスケットゴールを買いました。大きく頑丈なゴールですが、タイヤが付いているため自由に移動させることができます。今後を見据えて、あえて「移動式」を選びました。

同小が開校したのは1984年4月。昨年10月には40周年を祝う記念式典がありました。しかし、小山田南小としての記念式典はこれが最後。2031年度に近隣の学校との統合が予定されているためです。

統合前最後の周年事業となった今回、これまで保護者が中心となって集めてきたベルマークで、お買いものを

することにしました。話し合いの結果、古くなっていたバスケットゴールを買い替えることに決定。荒牧賢之介副校長によると、決め手は「作りがしっかりしているだけでなく、動かせる。将来、新校舎にも持っていくことができる」ということでした。

協力会社のセノーから商品が届くと、さっそく開封。その日のうちに組み立てて、校庭に設置しました。この日も休み時間になると、子どもたちが「俺もシュートできるよ」「よし、入った!」と、思い思いに体を動かしていました。



緊急友愛援助を募集

「能登半島地震」の被災地へ

今年1月1日に発生した「能登半島地震」において、参加団体からの緊急の友愛援助を募集します。財団の援助資金と合わせて、被災された石川県内の学校に支援をします。友愛援助は、参加団体が自分たちの備品購入の代わりに、ベルマーク預金を寄付にあてる仕組みです。

財団ホームページ(<https://www.bellmark.or.jp/foundation/30005877/>)にある「緊急友愛援助寄付申込書」に金額など必要事項を記入し、署名・押印のうえ、財団に郵送してください。2024年3月末日必着です。 輪島市立輪島中学校(提供:朝日新聞社)

